



発行
新川高校図書委員会
令和7年12月号



いよいよ年の瀬です！特に何の予定もなくても、世の中全体的に浮かれてしまって、毎年なんかソワソワしてしまいます。あと一息、駆け抜けましょう！

保護者会・冬休みにおける開館時間と特別貸出について

12月16日(火)～19日(金)の保護者会の期間と、12月23日(火)～26日(金)の冬季補習の期間は、図書室の開館時間は13:00～16:00となります。終業式の日は、帰りのST後～16:00です。なお、1月の図書室の利用は、始業式の翌日の1月8日(木)からです。温かい図書館は、いつでもあなたをお待ちしています。

冬休みの特別貸出として、12月15日(月)から一人5冊まで借りることができます。返却日は1月8日(木)です。寒くて外で遊びにくいこの時季、暖かい室内でしっかり読書して、心を豊かにいたしましょう。2025年の読み納め、2026年の読み初めは何にしましょうか。

クリスマスイベント

ただいま図書室では、ツリーに、願い事を書いた星形のオーナメント(?)を飾り付ける「星に願いを」イベントを実施しています。みなさんも、星に願いを捧げに来てください。



図書委員お勧めの本

『プシュケの涙』(柴村仁)【2年図書委員】

夏休み、一人の少女～吉野彼方が校舎の四階から飛び降りて自殺した。たまたま補習で学校に来ていたため、その現場を目撲した二人の少年～榎戸川と旭の許に、変人過ぎるため皆から”宇宙人”と呼ばれている美少年、由良が訪れる。生徒たちの心理的ショックも配慮され、静かに物事が処理されていくなかで、由良は「なぜ吉野彼方は自殺したのか」を探ろうとしているようだった。「二人で理由を探ってみないか」と持ち掛けられた榎戸川は、断るに断りきれず、何を考えているのかイマイチよくわからない由良に振り回され、自殺だと思ったかった榎戸川の考えは変化していく…彼ら二人が導き出した真実とは？そして、由良が吉野彼方の自殺の原因を探ろうとする理由とは…？

『小森谷くんが決めたこと』(中村航)【1年図書委員】

これは、ドラマの主人公になるような人ではなく、どこにでもいるような普通の人の物語です。とにかく惚れっぽく、勢いで告白してはいつも振られている小森谷くんが、学校やバイトでの経験、特に悪性リンパ腫での闘病生活を経て、三十代になるまでの人間的成长が、深く描かれています。小学生から高校生までの姿には私たちと重なるところがあったり、医者から余命二ヶ月と告げられても前向きに立ち向かっていく姿には勇気づけられたりします。普通の小森谷くんが、様々な困難を乗り越え、当たり前の日常への感謝を見つけ、成長しながら育っていく心に、ぜひ、自分の「普通」な生活の「特別」を見出してください。